

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 19 年 6 月 11 日 (月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	血清 HER2 タンパク
検査コード	6870
検体量	血清 0.5 mL
容器・保存	A1 A2 ・凍結
実施料(判断料)	腫管
所要日数	4~10日
検査方法	CLIA法
基準値	15.2 以下 (ng/mL)

保険収載名称：血清中 HER2 タンパク測定

保 険 注 釈：血清中 HER2 タンパク測定は、乳癌であると既に確定診断され、かつ HER2 タンパク過剰発現が認められている患者又は他の測定法により、HER2 タンパク過剰発現の有無が確認されていない再発乳癌患者に対して、EIA 法により行い、当該検査の結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に限り、B001 特定疾患治療管理料の「3」悪性腫瘍特異物質治療管理料の「ロ」を算定する。

B001 特定疾患治療管理料	ロ：測定法が精密なもの	(1) 1項目の場合	360点
3：悪性腫瘍特異物質治療管理料		(2) 2項目以上の場合	400点

《 解 説 》

癌遺伝子のひとつである HER2/neu の過剰発現が認められた乳癌患者は、予後が不良といわれており、HER2/neu の遺伝子産物である HER2 タンパクを標的としたトラスツズマブ(Trastuzumab 商品名：ハーセプチン)を用いた治療が実施されています。

本法は、従来法(EIA法)とは異なり、測定原理上トラスツズマブ投与患者でも測定値に影響を及ぼさないとされています。このため、HER2 タンパク過剰発現乳癌患者のモニタリングおよび再発乳癌の診断補助、特にトラスツズマブ治療中のモニタリングに有用です。